

街かど

- 募集しています
 - 短歌
 - 俳句
 - 詩
 - 随筆
 - イラスト
 - 写真
 - まんが
 - その他
- 町への意見や要望も受け付けます
- 文章は苦手という方は連絡を取材に行きます
- 匿名でもよいですが連絡先を忘れずに
- 投稿・連絡先は
黒崎町大野2843-1
広報「街かど」係
☎377-3101

短歌

黒崎短歌会

空晴るる五月の季を風寒く植えし
若苗すくみたるまま 笠原 セツ
歌集出版を祝いくるる若き日の生
徒らの待つ漁村にむかう 泉井 ヨ子
芽ぶく松の根本うすめて八重椿く
れない厚く重なりて咲く 竹中千代子
この星の再びめぐる世を語る米寿
の父は遠き目をする 阿部 淨子
子の止むるバイクの免許証みつ
居て夫を見舞いし遠き日と思う 大矢 キイ
車窓より投げすてられし吸殻の火
花散らしてころげゆきたり 永田キヨエ
古里は今も変わらず我迎え父母眠る
侍せの里 山田 卯八
寺のお講法話聞きくうたれたた僧
は笑顔で目ざまし語る 大谷 モト
一人居の老婦の庭の静もりて緑
は茂り花咲きあふる 小出美喜子
植え終えし早苗田の面に水澄みて

投稿Q&A

福祉、育成などの募金はどうしたらよいの？

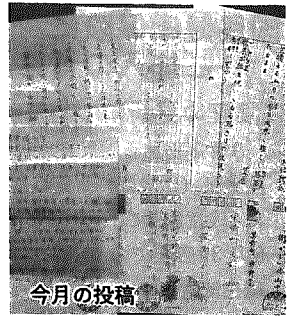
（前略）町民の質問はどこへ届けたらよいのかわからず、乱筆乱文ではございますが、お手紙を出させていただけますか。

①善欠中の住人ですが、福祉、育成等の封筒で募金のお願いがきます。以前封筒をなくしてしまっただけから、募金をしないと申し込め

とび交うつばめの尾さえ写りて 長谷川トリ
嫁の作る夕餈を囲み孫と食むこの 愛しきを守り生きなん 上山 恵子
赤肌の小指霜やけなせ癒えぬ若葉 にそよ風吹く頃なるに 柴垣 きみ
緞帳を挙げるがごとく雲晴れてわ が眼前に穂高聳わる 丸山 幸
河骨の花にひそかな水ありし 耕畝（講師）
獨歩忌や武蔵野の雨降り止まず 敏 郎
替女唄の哀しきまでに五月晴 文 雄
腰おろす一人ひとりの木蔭かな みよし
あえぎつゝのぼる坂道草萐 みどり
しまい湯はやすらぐ温かさ遠蛙 代 香
眩しさをさへぎる新樹また眩し 義 男

掬ふより漏るる楽しさ谷清水 律 子
かさこそと音掃き集む椎落葉 一 翠
かきつばた水車ゆっくり水こぼす けんじ
バラ散りて池の水を満たしけり 多 佳
切切と替女唄ながる夏館 チエ子
短夜の白むとともに逝かれしと 富 代
ゆきゆきて水辺の蒼き曲染明り トシ子
水無月や夕陽落ちこむ日本海 キヨエ
さらさらと風にこぼるる柘榴の花 弘 子
玉葱をむんずと抜ひて貰ひけり 玲 子
朝市に青鬼灯の鉢ならぶ きい
夏支度まず御仏の周りより 舞 子

夜濯の灯りにとんぼ迷ひ来る 成 子
流る汗腕で拭くひつ紫蘇をもむ 水 仙
孫獲かせ合間々に梅を挽く 友 佳
孫を連れ七夕竹を貰ひ来る 洋 子
風の日の続き胡瓜に曲り癖 飛 浪
蘭枕の固きくほみに馴染みし 素 明
五月雨の合い間を突きてペダル漕 小林 信
ぐ夫臥す病院霞で寝ゆ 鹿島 トイ
羽衣はこれぞと思はず蝉の孵化 鈴 木 ハツ
岩石を青葉のつゝみ舟下り



め事業運営進めております。

①質問の募金方法については、町より自治会長を通じて皆さまに配付、募金をお願いしているところですが、募金の集約は、各自治会、各班長によりそれぞれ異なる方法で行っておりますので、詳しくは自治会におたずねください。

②この問題については、警察等の関係機関と協議して検討してみたいと思います。貴重なご意見ありがとうございました。

（総務課）

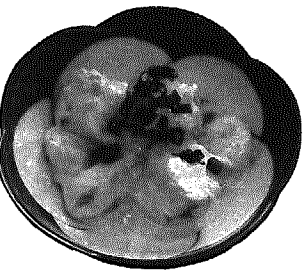
食

郷土料理 — 食生活改善推進委員会 —

かぼちゃのヨーグルトサラダ

作り方

- ①かぼちゃは2センチの角切りにしてゆでる。塩、こしょうをふる。
- ②プレーンヨーグルトとマヨネーズを合わせ、塩とこしょうをふって混ぜる。
- ③②でかぼちゃをあえて器に盛り、小口切りにしたあさつきをちらす。



- 材料4人分
- かぼちゃ.....400g
 - 塩.....少々
 - こしょう.....少々
 - プレーンヨーグルト.....50g
 - マヨネーズ.....50g
 - あさつき(万能ねぎ).....1束

1人当たり
エネルギー 172キロカロリー
カルシウム 54mg

- 薬味は紫タマネギ、パセリなどあるものを利用してください。
- ヨーグルトはさっぱりしており、夏のサラダにピッタリです。

寿通信

第39号

移動学習にて地ビールを「馳走

板井二 坂井万吉

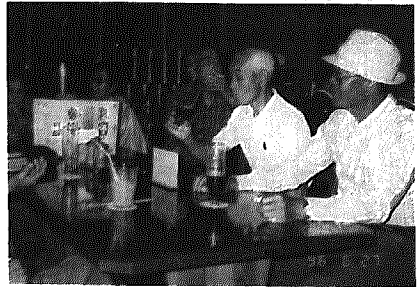


去る七月五日寿学級移動学習と言うことで総勢二十九名で出発しました。車の中で事務局より日程、時間等の説明があり、最初に北蒲原郡豊浦町天能の市島邸を見学しました。市島邸は昭和三十七年新潟県文化財に指定され、昨年の地震で壊された土蔵の修理をする職人が仕事をしていました。

私も過去二回見たのですが、当時は建物の中へは入れず、池や庭園を見て廻った記憶があるのですが、この度は部屋を廻り、昔の面影が何われしました。敷地は八千余坪、建物は六百余坪で、さすが昔の豪農だと思いました。

次に笹神村に平成三年に出来たロシア村を見ました。入場後すぐ地ビール（またはジュース）を「馳走」になり、時間のある限り施設を見たり、劇場でショーを見て一時十分出発。

昼食は安田町「山羊亭」でした。この食堂は天張りもなく



古風なものでしたが、馳走もありみんな喜んでいました。

最後に京ヶ瀬村にある越後七不思議のうちの二つで、昭和二年天然記念物に指定された「八房の梅」と「数珠掛」を見ました。

「八房の梅」は親鸞聖人が滞在の際、塩漬の実をとって浄土往生を唱えたところ、この実より芽が生じ一輪に八個の実を結び、末代の米と凡夫往生の証となれよとこれを植えたものと伝えられる。

「数珠掛」は親鸞聖人が滞在を終え御出立に際し持っていた数珠を往還の桜に掛け、「我が弘むる御法にいつわりなくば花房数珠の如くならん」と唱えたところ、花くれないに数珠の花がなつたと伝えられている。

どちらも今あるものは若木が植えてあり、この言い伝えだけが残っている。

参考になればと書いた次第です。

入会希望は社会教育課へ
☎377-3101